



日米交流ミニ運動会 in IWAKUNI (岩国市)

## 防衛施設の建設工事のご案内

～我が国の  
安全保障基盤を  
創る仕事です～



2019. 11



## 目次

- ◆ 日米交流ミニ運動会 in IWAKUNI 開催
- ◆ 米海兵隊岩国航空基地セーフティブリーフィング
- ◆ 米海兵隊岩国航空基地所属機2機の空中接触による墜落事故に関する追加説明
- ◆ 国内における米海兵隊との実動訓練(フォレストライト(MA))
- ◆ 陸上配備型イーグリス・システム(イーグリス・アショア)について
- ◆ 令和元年版防衛白書の地方公共団体等への説明
- ◆ とっとり防災フェスタ2019
- ◆ 令和元年台風15号に係る災害支援
- ◆ 住宅防音工事の助成の概要
- ◆ 装備品等の調達に関する業務紹介
- ◆ 30年度計画護衛艦起工式
- ◆ 29年度計画音響測定艦建造状況
- ◆ 令和元年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式
- ◆ 海上自衛隊幹部候補生学校 大判英之 海将補ご挨拶
- ◆ 職員の独り言

防衛施設の建設工事のご案内  
防衛省ホームページ(QRコード)  
でご覧頂けます。 ⇒



編集・発行 中国四国防衛局  
〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30  
Tel 082-223-7109

# 日米交流ミニ運動会 in IWAKUNI 開催

令和元年11月23日、山口県岩国市にある米軍と岩国市が共同使用するロータスカルチャーセンター（文化交流施設）において、中国四国防衛局主催による日米交流事業を行いました。

今回開催した「日米交流ミニ運動会 in IWAKUNI」は初めての事業であり、当日は福田岩国市長、米海兵隊岩国航空基地司令部司令中隊司令官ジェイソン中佐をお迎えし、岩国市内の児童とその保護者87名及び米軍岩国航空基地内の児童とその保護者23名が参加しました。

参加者は4つの日米混合チームに別れ、ウォーミングアップを兼ねた鬼ごっこを行ったあと、玉入れ、デカパン競争、大玉ころがし、綱引きの4種目に力を合わせて臨み、コミュニケーションを図っていました。

中国四国防衛局では、今後も米海兵隊岩国航空基地の周辺地域の方々と米軍人・軍属及びその家族との相互理解を図ることを目的として、引き続き日米交流事業を実施してまいります。



森田中国四国防衛局長



福田岩国市長



ジェイソン司令中隊司令官





年末の長期休暇を前に米海兵隊岩国航空基地所属の海兵隊員の安全意識の向上を図るため、令和元年11月13日、同基地主催による「セーフティブリーフィング」が開催され、福田岩国市長、森田中国四国防衛局長が英語でブリーフィングを行いました。

森田局長からは、日米の文化や交通規則の違いに触れつつ、日米両国及び地域の安全にとって重要な岩国航空基地を安定的に運用していくためには、米軍構成員の規律の保持と事件・事故の防止が大変重要であること、岩国航空基地と地元とのこれまでの良好な関係を継続・発展させるよう、一人一人が「良き隣人」として行動し、地域住民と積極的に交流を図ることが大切であること等を説明し、理解を求めました。

## 米海兵隊岩国飛行場所属機2機の空中接触による墜落事故に関する追加説明

令和元年11月29日、岩田防衛大臣政務官が岩国市役所及び山口県庁を訪れ、岩国飛行場の関係自治体（山口県、岩国市、和木町、周防大島町）の首長及び議長等に対して、平成30年12月に発生した米海兵隊岩国飛行場所属機2機の空中接触による墜落事故の原因や再発防止策に関する追加説明を行いました。

なお、高知県、広島県等の関係自治体に対しても局職員から追加説明を行ったところです。



# 国内における米海兵隊との実動訓練(フォレストライト(MA))

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動(指揮機関訓練を含む。)により訓練し、連携強化及び共同対処能力の向上を図るため、令和元年12月1日から13日の間、米海兵隊との実動訓練(フォレストライト(MA))が実施されました。本訓練は、沖縄の負担を軽減するため、普天間飛行場に所在するMV-22オスプレイ等の訓練活動を沖縄県外に移転するものを組み込んで実施されたものです。

今回の訓練には、陸上自衛隊と沖縄の米海兵隊が参加し、中国四国防衛局管内では、日本原演習場において、12月3日に日米両隊員が連携して射撃訓練を行ったほか、国分台演習場において、12月9日から11日の3日間、オスプレイが離着陸訓練を含む空中機動訓練や地上での日米航空機間での給油訓練、地上部隊による偵察訓練等が行われました。



当局は、11月14日の本訓練概要の公表に合わせ、地元自治体(岡山県、奈義町、津山市、香川県、高松市、坂出市)に対し、共同訓練の趣旨や訓練計画の概要を説明したほか、訓練期間中は、不測の事態にも迅速に対処できるよう、両演習場周辺に現地連絡所を設置し、地元自治体への情報提供や地元住民皆様からのお問い合わせ等への対応を行い、国分台演習場周辺4か所において騒音測定を実施しました。本訓練は、日米両部隊とも安全面に十分配慮し、事故やトラブルなく終了しました。



## 山本防衛副大臣による山口県知事等への説明



令和元年12月17日、山本防衛副大臣が山口県庁を訪れ、山口県知事、萩市長、阿武町長、山口県副知事、山口県議会議員、萩市議会議員及び阿武町議会議員に対し、陸上配備型イージス・システム(イージス・アショア)の配備候補地である陸上自衛隊むつみ演習場に係る再調査の結果を踏まえた再説明を行いました。

山本副大臣は、①イージス・アショアのレーダー波(メインビーム)は、西台も含め、地表面や構造物等に当てることなく照射すること、②むつみ演習場周辺の水環境に影響を生じさせないよう具体的な措置を講じること、③迎撃ミサイルのブースターは、飛翔経路をコントロールすることにより、演習場内に落下させるための措置をしっかりと講じること等を説明しました。

山口県知事からは「地元でも、詳細で分かりやすい説明を行って頂きたい。」等のご発言があり、山本副大臣は、「地元の皆様のご懸念やご不安を払拭できるよう、具体的で分かりやすい説明に努めてまいります。」等と述べました。



## 萩市議会全員協議会、阿武町議会全員協議会への説明 萩市民及び阿武町民の方々への住民説明会開催

令和元年12月18日及び19日、防衛省山野審議官ほか萩市議会及び阿武町議会の全員協議会において、12月19日から22日にかけて、森田中国四国防衛局長ほか萩市民の方々に対し、陸上配備型イージス・システム(イージス・アショア)の配備候補地である陸上自衛隊むつみ演習場に係る再調査の結果を踏まえた再説明を行いました。



萩市議会全員協議会



阿武町議会全員協議会



萩市住民説明会



阿武町住民説明会

# 令和元年版防衛白書の地方公共団体等への説明

中国四国防衛局においては、陸・海・空自衛隊及び自衛隊地方協力本部と連携し、中国四国防衛局管内の220の地方公共団体等に対し、令和元年版防衛白書の説明を実施しております。

令和元年12月10日には、中国四国防衛局長、広島地方協力本部長、陸上自衛隊第13旅団副旅団長から、湯崎広島県知事に対し説明を行い、湯崎知事は熱心に聞き入っておられました。

当局は、今後も引き続き、我が国防衛の現状と課題及び防衛省・自衛隊の取り組みについてより多くの方にご理解いただけるよう努めてまいります。



湯崎広島県知事に対する防衛白書説明



令和元年度版防衛白書は、防衛省のホームページに掲載されています。(https://www.mod.go.jp/)



## とっとり防災フェスタ2019

中国四国防衛局は、令和元年11月16日に鳥取県倉吉市（大御堂廃寺跡地）において、鳥取県、中部5市町（倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町）、防災関係機関等が参加する「とっとり防災フェスタ2019」にブース出展をしました。

会場では当局が行った平成30年7月豪雨の災害対応について、来場された方々にパネル展示を使って説明を行い、令和元年版防衛白書ダイジェスト版、広報誌等を配布しました。

当局では防衛省・自衛隊の活動等に興味を持っていただくよう、今後も様々な機会を活用し、広報活動を行ってまいりますので、見かけた際はお気軽にお立ち寄りください。



## 令和元年台風15号に係る災害派遣

令和元年9月9日に千葉市付近に上陸した台風15号は、関東各地で記録的な暴風となり、甚大な被害を残しました。

千葉県知事等からの要請に基づき、自衛隊は給水、患者搬送、倒木等除去等の各種救援活動を行いました。中国・四国地方の部隊も支援に当たり、陸上自衛隊第15即応機動連隊・第14後方支援隊（普通寺）は、9月15日～16日の間、トラックにより千葉県へブルーシートの輸送支援を行うとともに、第8普通科連隊（米子）、第17普通科連隊（山口）、第46普通科連隊（海田市）が普通科支援隊を編成し、9月25日～10月1日の間、千葉県鴨川市及び鋸南町において、ブルーシートの展張支援を行いました。

また、航空自衛隊第3輸送航空隊（美保）も、輸送機により千葉県へブルーシートの輸送支援を行いました。

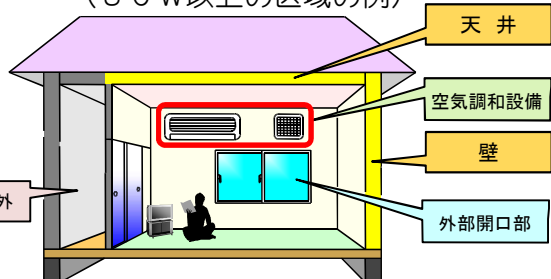


# 住宅防音工事の助成の概要

防衛省では「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、自衛隊や在日米軍の飛行場の運用に伴う航空機による騒音の障害を防止又は軽減するために、住宅に対して防音工事の助成（補助金の交付）を行っています。

## ■住宅防音工事の概要

(80W以上の区域の例)

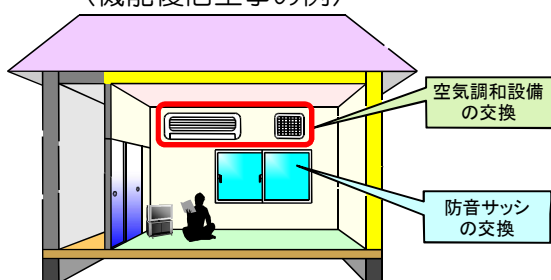


### ◆防音工事

既存のサッシ（外部開口部）を防音サッシに交換し、空気調和機器（換気装置及び冷暖房機）を設置する工事です。

80W以上の区域では、天井及び壁の遮音、吸音工事も実施します（ただし、鉄筋コンクリート造は施工しない）。

(機能復旧工事の例)



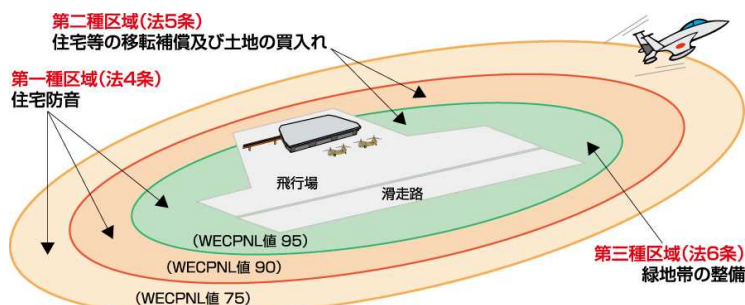
### ◆機能復旧工事

防音工事で設置したサッシ及び空気調和機器が、工事完了から10年を経過し、その機能の全部又は一部を保持していない場合に交換する工事です。

## ■助成対象となる住宅

◆防衛省が定める区域（第一種区域）に所在し、それぞれの飛行場に定められた年月日までに建築された住宅が対象となります。

施設名	対象となる住宅の建築年月日
徳島飛行場	昭和57年3月31日まで
岩国飛行場	(80W未満の区域) 平成4年3月27日まで
	(80W以上区域) 平成23年9月20日まで
美保飛行場	平成3年6月12日まで



## ■住宅防音工事の助成の申込

◆住宅防音工事の申込方法等は、中国四国防衛局までお問い合わせ下さい。

住宅防音工事の手続き等の詳細及び希望届の様式は、中国四国防衛局のホームページを御覧ください。

(問い合わせ先)

中国四国防衛局 企画部 防音対策課

TEL: 082 (223) 7211

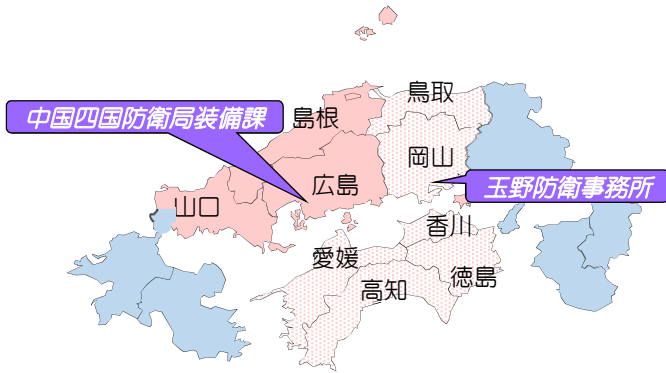
[http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/090\\_juutakubouonkanren/02\\_bouonkouji/jyuutakubouon.htm](http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/090_juutakubouonkanren/02_bouonkouji/jyuutakubouon.htm)



# 装備品等の調達に関する業務紹介

(中国四国防衛局調達部装備課・玉野防衛事務所)

## 1 装備品調達に係る中国四国防衛局の管轄区域



中国四国防衛局は、中国5県及び四国4県を管轄区域としており、このうち装備課においては、島根県、広島県、山口県（下関市を除く）、玉野防衛事務所においては、鳥取県、岡山県、徳島県（板野郡を除く）、香川県、愛媛県、高知県をそれぞれ管轄しています。

## 2 主要な業務

自衛隊の任務遂行に必要な装備品等（火器、誘導武器、電気通信、船舶、航空機、車両、機械、弾火薬類、食糧、燃料、繊維及びその他需品）及びこれに関する役務に係る監督・検査及び原価監査その他契約の履行に関する業務を行っています。

- ◆ **監督**：製造などの履行過程において、立合、工程管理、材料・部品等の審査又は試験等を実施して品質等の確保を図るものです。
- ◆ **検査**：契約履行の最終段階で品質や数量を確認するものです。
- ◆ **原価監査**：契約相手方が契約の履行のために支出又は負担をした費用が原価として妥当であるかを審査するものです。



試験：艦船に搭載する前の地上での搭載機器動作確認試験



検査：ブロックどうしの溶接等についての不具合の検査



試験：艦船内の配管に対する圧力強度試験



工程管理：信管部位の組み立て状況の確認

### 監督検査の様子



材料・部品等の審査：専用治工具について整備状況の確認



# 30年度計画護衛艦起工式

令和元年10月30日、岡山県玉野市の三井E&S造船(株)玉野艦船工場において、30年度計画護衛艦(以下「30FFM」という。)の起工式が行われ、海上幕僚監部から柴田人事教育部長、中国四国防衛局から早坂総務部長、葛谷玉野防衛事務所長以下事務所員そして三井E&S造船(株)、三菱重工(株)の関係者が出席しました。

今回建造される艦は、新型護衛艦の2番艦として建造され、標準排水量3900トン、長さ132.5メートル、幅16.3メートル、深さ9メートルと従来の護衛艦と比較してコンパクトかつ多機能な艦艇になる予定です。

起工式では、地元「玉比咩神社」の宮司によって神事が行われ、工事期間の安全、艦の安全が祈願されました。また、溶接行事では、柴田人事教育部長が準備されたプレートにイニシャル・サインを施した後、溶接機械を作動し、30FFMの建造工事が開始されました。このサインされたプレートは、船体に備える神棚の後ろ側等の見えない箇所では船体の一部として実際に使われる予定となっています。

今後は、いくつかの船体ブロックを製造・搭載を繰り返し、令和2年11月には船体搭載完了後、艦命名、進水式が行われる予定となっています。



# 29年度計画音響測定艦建造状況

平成31年3月5日、岡山県玉野市の三井E&S造船(株)玉野艦船工場において起工式が行われた29年度計画音響測定艦は、令和2年1月15日に進水式が行われ、令和2年度末の引渡しに向け着々と作業が進んでいます。

なお、進水式の模様は次号にてご紹介します。



令和元年7月作業中



令和元年11月作業中

# 令和元年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式



米陸軍第10支援群弾薬廠



米海兵隊岩国航空基地



令和元年10月18日、米陸軍第10支援群弾薬廠（呉市）及び同月29日、米海兵隊岩国航空基地（岩国市）に勤務する在日米軍従業員に対し永年勤続者表彰式がそれぞれ開催されました。

呉では、呉市長、東広島市長（代理）、江田島市長（代理）及び全駐留軍労働組合広島地区本部執行委員長、岩国では、岩国市長（代理）、岩国市議会議長及び全駐留軍労働組合山口地区本部執行委員長のご臨席を賜り、勤続40年、30年、20年及び10年を迎えた107名（呉30名、岩国77名）の受賞者へ中国四国防衛局長及び第10支援群弾薬廠長、岩国航空基地司令官から表彰状及び記念品が授与されました。

主催者の中国四国防衛局長から、「長年にわたり、それぞれ重要な職務に精励され立派に職責を果たしてこられました皆様方に対して、心から敬意を表する次第でございます。これからはそれぞれの職責において、一層御活躍頂くことをお願いするとともに、日米両国の架け橋として、御貢献頂ければ大変ありがたく存じます。」と祝辞が述べられ、呉及び岩国の勤続30年受賞者がそれぞれ代表して、「私たちは、本日の、この意義ある式典を心の糧とし、長年にわたって培った知識や経験を活かし、これからも在日米軍施設の円滑な運営のため、従来にも増して職務の遂行に励み、日米両国の架け橋としての役割を果たしてまいります。」と謝辞が述べられました。

表彰式終了後は、式典会場において勤続年数ごとの記念撮影及びレセプションが執り行われ、終始和やかな雰囲気ですべて終了しました。



令和元年8月23日付で、海上自衛隊幹部候補生学校長を拝命した大判将補です。昭和61年に幹部候補生として本校に入校して以来、34年の時を経て本校の学校長を拝命したことは、大変光栄であるとともに、身の引き締まる思いです。

本校を卒業、修業する学生たちは、将来の海上自衛隊を担うリーダーとして海上自衛隊の部隊、機関で活躍することが期待されます。海は、あるときは平穏でやさしく、またあるときは容赦のない厳しい顔を見せます。そのような中で指揮を執ることとなる幹部候補生には、精神的にも肉体的にもタフであるとともに、情勢の変化に対応できる柔軟性、また世界の海を渡り歩く国際性などの資質が求められます。

海軍からの古き良き伝統を継承しつつ、新しい時代にふさわしい幹部自衛官を育てるため、幹部候補生教育に精励する所存です。

どうぞ、皆様方からの引き続きの温かいご支援、ご協力を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。



海上自衛隊幹部候補生学校HPにはこちらのQRコードでご覧頂けます。⇒



# 職員の独り言



(建築課 しまなか 島中 ゆうだい 雄大)

私は、平成29年度採用で3年目を迎える時に、南関東防衛局から中国四国防衛局に配属されました。

初めての転勤ということもあり、とても不安でしたが、建築課の皆さんは、本当に良い方たちばかりでとても充実した日々を送れています。まだまだ勉強しつつ業務遂行に当たっており、上司と係員合同でOJTを行ったり、別担当の現場にも積極的に行かせてもらい、日々勉強できる環境が建築課にはあり、毎日新たな発見がありスキルアップができます。

また、建築課は宿舍や庁舎といった一般的な建築物だけではなく、鉄塔や試験場、講堂、様々な倉庫なども施工するので、特殊な建物の構造や仕組みが学べる職場です。できるだけ部隊さんのニーズに応えられるように、上司と相談しながら良い建物を完成できるように心がけようと思います。

休日は、平日の仕事の疲れを発散するために、飲み歩きます。広島は、地元(長崎)の友達が少ないので、飲み歩きに付き合ってくれる方を募集しております...



(設備課 さいとう たいが 齊藤 大賀)

私は平成30年4月に入省し、調達部設備課に配属され、機械設備工事に関する業務に携わっています。発注に関する工事費の積算や工事監督として、ユーザーや工事受注者と何度も打ち合わせを行い、工事を円滑に進め、工期内に工事を終わらせるだけでなく、質の高いものになるよう努めています。

担当地区には、山口県内の自衛隊や在日米軍施設があります。岩国航空基地内の工事現場では、国内の機械設備工事とは異なる米軍基準により設計されており、実際に完成した建物は国内では見ないものもあり、技術者としていろいろな経験を積んでいます。

休日には職場の人とテニスをしたり、今の季節ではスノーボードをしたりして、気分転換をしております。今年は、成人式を迎え、大人の仲間入りを果たしたので、これをきっかけに何か新しいものにチャレンジしていければと思っています。

## 【information】

2020年5月5日(火) 第44回海上自衛隊/米海兵隊岩国航空基地  
フレンドシップデー2020 開催

